

平成30年度 第1回京北第二小学校学校評価の結果と分析

本校教育活動をより充実するために、今年度1回目、後期の学校生活について、児童・保護者のアンケートを実施しました。お忙しい中、保護者の皆様にはご協力いただき誠にありがとうございました。

学校評価のアンケート結果を表にまとめ、そこから質問項目を焦点化して分析・考察いたしました。この内容をもとにして、今後もよりよい教育活動を推進していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■学校教育目標

京北地域の主体者として、伝統と文化を受け継ぎ、自らの進路と未来を切り拓いていける子どもの育成

■めざす子ども像

- 自分の考えを表現し、進んで学ぶ子
- ふるさとを愛し、思いやりのある子
- 積極的にチャレンジし、粘り強くやり通す子

■学校評価の目的

- 学校教育目標・めざす子ども像の達成に向けての学校教育の取組について、学校評価を通して、成果と課題を明らかにし、よりよい学校への改善を図る。
- 保護者・地域の方に、育てたい「子ども像」や課題を知っていただき、子ども達への教育を共に進めていく。
- 児童も後期の生活を振り返り、よりよい学習や生活ができるようにする。

学校生活 (A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者	前期			
	A	B	C	D
① お子たちは、は学校生活を楽しく送っていますか。	73	24	3	0
② お子たちに、友達を大切にしよう関係は育っていますか。	53	43	4	0
③ 思いやりの心やいじめを許さない心は育っていますか。	47	49	4	0
④ 学校は授業や行事を通して、健康教育や保健教育に積極的に取り組んでいますか。	59	37	4	0
児童	前期			
	A	B	C	D
① 学校は楽しいですか。	76	22	2	0
② 友達を大切にしていますか。	87	13	0	0
③ 友達に嫌なことを言ったり、したりせず、相手の気持ちを考えて、行動していますか。	71	29	0	0
④健康にすごせるように、外で元気に遊んだり、手洗いうがいを忘れずに行っていますか。	78	22	0	0

どの質問項目においても A そう思う（以下 A）と B 大体そう思う（以下 B）の合計が 90%以上となっています。ただ、少数ではありますが、C あまりそう思わない（以下 C）の回答があり、見過ごすことはできないと考えています。児童においても①「学校生活は楽しいですか」に対して、C が 2%あります。児童の困りに早く気付くには、様子をよく見ることも、対話が大切です。定期的な教育相談を行う等、意図的な取組を進めていくことを考えていきます。

④健康教育や保健教育については、定期的に行っている発育測定やその時に行っている保健指導の内容、生活点検の結果等を毎月の保健便りやホームページで積極的に発信し、ご家庭での話題にしてもらいたいです。

学 習 (A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者	前期			
	A	B	C	D
①学校は、工夫して分かりやすい授業を行うなど、学力の充実、向上に積極的に取り組んでいますか。	43	51	2	4
②お子たちは、意欲的に学習に取り組み、授業の内容を理解していると思いますか。	25	69	4	2
③お子たちは、授業などでクラスや仲間に自分の考えを表現・発表することができますか。	36	56	6	2
④お子たちは、いろいろな課題についてあきらめず粘り強く取り組んでいますか。	33	55	12	0
児童	前期			
	A	B	C	D
① 授業は分かりやすいですか。	76	22	2	0
② 授業では、勉強していることが、よく分かりますか。	76	22	2	0
③ 授業中、手をあげて、自分の考えを発表していますか。	72	24	2	2
④ 難しい問題でも、すぐにあきらめずに、粘り強く考えていますか。	67	27	4	2

①②③において保護者では、A・B合わせて 90%以上あります。ただ、他の質問に比べても C・D そう思わない（以下 D）の割合が多いです。また、A よりも B の割合が多いのも特徴です。

学習において、繰り返し練習して漢字や計算の力をつけていくことは大切です。ただ、授業において児童が互いの意見に刺激を受け合って学習することもとても大切にしています。それは、集団で学習する良さであり、児童が主体的に取り組む学習につながるからです。そうした学習に取り組むことができれば、学習を楽しむことができ、内容の理解にもつながると考えています。

④については保護者で C が 12%、児童で CD 合わせて 6% となっています。これは、おそらく家庭学習において、難しさや面倒さを感じて、投げ出してしまったり、なかなか進まず時間がかかってしまったりしている様子があるのではないかと考えています。学校では、難しく感じた時にどうすればいいのか、復習の方法についても学年に合わせて指導していきます。ただ、学校の様子としては、多くの児童が様々な場面で粘り強く取り組んでいると見ています。日々の真面目にこつこつと頑張っている姿を学級便りやホームページ、時には家庭訪問を通じて伝えていきたいと考えています。

家庭生活

(A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者	前期			
	A	B	C	D
① お子たちには、家庭での学習の習慣を身につけさせていますか。	37	47	14	2
② お子たちには挨拶をするなど基本的な生活のマナーを守らせていますか。	55	45	0	0
③ お子たちには早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身につけさせていますか。	49	47	4	0
④ お子たちにはテレビ・ゲーム・情報通信機器（ネット・SNS 等）の時間や約束を守らせていますか。	37	41	20	2
⑤ お子たちには家での役割（決まったお手伝い等）を持たせていますか。	41	39	20	0
⑥ お子たちとは家庭で学校のことを話すなど、子どもと対話やふれあいの時間をもっていますか。	53	45	2	0
児童	前期			
	A	B	C	D
① 家で、宿題などの勉強はしっかりできていますか。	75	20	5	0
② 「おはよう」「ありがとう」など、あいさつはできていますか。	82	18	0	0
③ 家で、「早寝ね・早起き・朝ご飯」はできていますか。	63	29	6	2
④ テレビ・ゲーム・スマホ・タブレットなどについて、おうちの人との約束を守っていますか。	79	15	6	0
⑤ 家で、きまったお手伝いをしていますか。	62	29	6	3
⑥ おうちの人に学校であったことを話したり、一緒に遊んだりしていますか。	65	27	8	0

①家庭学習については、保護者においてCD合わせて16%となっています。「習慣」となっているかという児童が自ら、決まった時刻に行くことを求められていると思います。なかなかそうはならないかもしれませんが、やはり児童が家庭学習を自ら行った時に、積極的に評価することが大切なのではないでしょうか。そうして、小学校段階で、学校で学んだことを家庭で復習する習慣をつけておくことが、中学校やまたその先へ続く学習の基礎となります。学校では、家庭学習の内容を工夫するとともに、その量についても系統性を見直し、学校全体として家庭学習への働きかけをしていきたいと考えています。

④⑤については、児童においてもCDはありますが10%未満で、保護者においてはCD合わせて20%以上あります。⑤家での役割については、保護者が家での役割を特にもたせていないと考えているのに対して、児童は親に頼まれた手伝いはできていると思っているのではないのでしょうか。学校においては、これまでに引き続き、道徳や家庭科で家庭での役割を果たすことの価値について学習していきます。

④について、保護者の方は①と同様に自らは時間や使い方についての約束を守っていないと判断されたのではないのでしょうか。こうした情報通信機器の取り扱いについては、まず家庭での約束があることが大切であると考えています。自由に使えるわけではなく、そこに判断が求められることを小学校段階で体験させておくことで、成長し、いよいよ自分の判断が求められるころに便利な道具をより有効に使うための態度が身に付いていると思います。学校では、発達段階に合わせた情報教育に取り

組み、有効性や危険性について学習していきます。また、生活点検の結果等を活用し、情報通信機器の使用について懇談会等の話題にしていきたいと考えています。

学校運営 (A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者	前期			
	A	B	C	D
① 学校行事は子どもの力を育てるものになっていますか。	75	22	3	0
② 学校は、保護者に教育目標やめざす児童像を分かりやすく伝えてありますか。	55	41	4	0
③ 学校は、学校便りや学級通信、ホームページ等で学校の様子を積極的に知らせていますか。	63	37	0	0
児童	前期			
	A	B	C	D
① 運動会、社会見学などの学校行事は自分の役に立っていると思いますか。	76	20	4	0
② 学校の目標、クラスの目標達成を目指して、活動していますか。	71	25	2	2
③ クラスのお便り、ホームページなどで、学校のことや予定についてよく分かりますか。	76	16	6	2

いずれもA Bの合計が90%以上あります。学校では、便りやホームページで活動内容を発信する時に、その目的等を載せていき、時には学校教育目標やめざす児童像とも関連付けていきたいと考えています。そして、ご家庭での話題にして頂けるとうれしいです。

学校・保護者・地域との連携

(A そう思う, B 大体そう思う, C あまりそう思わない, D そう思わない, 数字は%)

保護者	前期			
	A	B	C	D
① 学校・担任は保護者の相談に丁寧に対応していますか。	69	25	6	0
② 子どもは、地域の行事等に参加していますか。	80	20	0	0
③ 学校・家庭・地域が協力して子ども達の安全や健全育成に努めていますか。	76	22	2	0
児童	前期			
	A	B	C	D
① 困ったことがあった時は、担任の先生に相談していますか、また、しようと思っ ていますか。	60	33	7	0
② 地域のお祭りや行事には積極的に参加していますか。	73	27	0	0
③ 地域や近所の人とあいさつしたり、お話ししたりできていますか。	76	20	4	0

①について、保護者ではCが6%、児童で7%となっています。この結果は真摯に受け止めなければならぬと感じています。よく言われることですが、家庭と学校、地域が協力することで、より効果的な教育ができます。そのために、学校では問題があったときに連絡し、家庭訪問するだけでなく、普段の児童のがんばりや様子等も伝え、保護者の皆様との連携を密にとっていきたいと考えています。また、担任だけでなく、養護教諭や教務主任、教頭、校長等も相談の窓口になり、児童にとってより

よい教育を進めていけるようにしたいです。

そして、学校には1か月に1, 2回スクールカウンセラーが来校します。保護者の相談を受け付けておりますが、児童の相談も受け付けられるような時間と場所を設定するなどの工夫もしていきたいと考えています。

③**地域の方との連携**も大切です。警察等の諸機関との連携はもちろんのこと、自治会や各種団体の皆様とも連携をしていき、児童の安全を守り、健全な育成を見守っていただける環境をつくっていきたいです。そのために、学校では地域の自然や施設、人材を学習に取り入れさせていただき、教職員の地域理解も進めていきたいと考えています。

保護者アンケート自由記述から（抜粋）

いつもお世話になり、ありがとうございます。今のところ、子どもは毎日学校へ行くのを楽しみにしているようで、親としては、とても有難く思っております。これからも丁寧なご指導、よろしくお願いいたします。

日頃から、大変お世話になっています。ありがとうございます。

いつも学校運営に多大な努力をいただき、ありがとうございます。教育とは共育と考えます。その意味でアンケート内容が、子どもが受け身に教育される主体として扱われており、未来的でないと感じます。ご一考ください。

授業が楽しくないと思います。毎日、全ての授業を準備して、というのは難しいかもしれませんが、1日1つでも楽しいなど、お互いに感じとれていますでしょうか？

学力の向上も、もちろん大切なことで、そのためにペースを守って、次々と進めていかななくてはならないのだと思います。でも、基本は学ぶ楽しさ、学ぶ喜びだと思います。そのために先生方がどのくらい時間をかけてくださっているのか伝わってきません。先生自身が授業を楽しんでほしいと思います。それを子どもを通して、親にも伝えてください。そのために必要なことは、できるかぎり家庭でも努力したいと思っています。

学校が楽しいなと思えるようになってほしいと思っています。「先生～してたのしかった」みたいなことが子どもから聞けるといいなと思います。もっと子どもたちと楽しい時間をすごしてほしいと思います。なんとなく忙しくて、そんなことをする時間もないのかなあと考えています。

いつも丁寧にご対応いただき、ありがとうございます。

5年生の授業の様子をホームページでもっと載せてほしいです。できれば、8人の生徒がうつるように平等に（学級通信の写真も）。祖父母もホームページを見るので、よろしくお願いします。

リサイクルのプルタブの件ですが、第一小のように、空き缶のまま回収はできませんか？空き缶（ビール等）がすぐ溜まるので、つぶさず空き缶そのまま持っていけたらなあと思います。

子どもたちに丁寧に向き合ってくれていると思います。

クラブ活動で頑張ってくくださっていることはよく分かるのですが、体調不良の際や足の痛みの際、本人の話を聞いてもらい、見学・フォローにまわる等を考えていただけるとありがたかった。大文字の際、万全で出場したいし、気持ちも高めてやってほしいです。

いつもありがとうございます。

学校評議員会より

- 「学校生活」について、保護者と児童で回答の割合の差が気になる。トラブルがあった時に、児童は忘れても保護者は覚えていることがある。不安に感じている保護者に寄り添えるようにしてほしい。
- スクールカウンセラーは保護者対象にとどめておかず、児童も相談できるようにするのがいい。ただ、最初は相談というよりも、何気ない会話を楽しむ機会を設けていくことが必要だと思う。
- 保護者との相談はもちろんだが、児童との相談の場合も、スクールカウンセラーが聞いたことは守秘義務がある。そのことも発信していくと、相談しやすくなると思う。
- 児童や卒業生が土砂崩れの復旧に手伝っていただいて、とてもありがたかった。その様子を見てると粘り強くがんばれる子が多いと感じる。
- 情報通信機器については、保護者で心配している方が多い。使ってはダメと言ってしまうのではなく、一緒に勉強していくことが大事だと思う。
- 携帯電話やタブレットだけでなく、ゲームも通信することができ、見知らぬ誰かと交流していることがある。
- ゲームは仮想の空間で、現実の社会ではないことを教えていく必要がある。
- 京北でも情報通信機器を使う児童・生徒が確実に増えている。トラブルが起こる前に、有効な使い方、態度について教えていく必要がある。
- 子どもの連れ去りが心配な地域である。子どもを守っていかなくてはいけない。そのために地域、保護者と学校が連携することが大切である。
- 学校便りは地域の方もとても楽しみにしている。学校の取組をしってもらうことも、連携ということを見ると、とても大切になるだろう。児童が大人を知り、大人が児童を知っている地域は防犯にも強い地域であると思う。